

環境活動報告

2025年
2月

地球のゴミ問題

世界では毎年約21億トンの廃棄物（家庭ゴミ）が排出されています。開発途上国では収集されないゴミが多く海や川に流されたり不法投棄されたりしています。そして我が国日本の年間ゴミ排出量は約4,034トン、東京ドーム約108杯分にもなります。また2024年、日本では「電子廃棄物」によるごみの量が増え続けています。これは主にスマートフォンやタブレットによるものであり、国民一人ひとりがこのような電子機器を所有するようになったことから、



ゴミのゆくえ

燃えるゴミ

ゴミ収集車によって回収され清掃工場へ、焼却場で焼き灰にします。

この灰は最終処分場（埋立処分場）で捨てられます。

一部地域では温水プールのエネルギーとして使用したり道



不燃ゴミ

処理施設で人の手で仕分けられます。

アルミ類、鉄類、鉛類はリサイクル工場へ、それ以外のゴミは粉碎機で細かく砕かれ**最終処分場（埋立処分場）**で捨てられます。



このままゴミが増え続けると地球はどうなる？

採取処分場（埋立地）がなくなる

最終処分場は全国平均であと20年ほどで寿命を迎えると環境省から発表されており、問題視されています。

環境保護や埋め立て場所の確保が難しいことから、最終処分ができる場所には限りがあります。最終処分場がいっぱいになってしまったら、街にごみが溢れることとなります。

資源が枯渇してしまう

化石燃料や森林、海洋資源には限りがあります。無駄を無くさなければ、地球の資源が枯渇し、資源が枯渇すれば、どんなに暑くてもエアコンが使えず、どんなに寒くても暖房が使えなくなります。食品を保存する冷蔵庫も、工場を動かす燃料も無くなってしまい、人間の生活は破綻してしまうの



海の生き物の重さよりゴミの重さが上回ってしまう

パイ捨てされり、風で飛ばされたりしたごみは、川に流れ込み、最終的に海に流れていきます。

海には海洋プラスチックと呼ばれるプラスチックごみの破片がたくさん流れ込んでいて、景観を汚すだけでなく、有害物質を発生したり、エサと間違えて魚や貝が食べてしまったりしています。

プラスチックは自然界では分解されにくいので、どんどん溜まり続けていきます。

このままだと2050年には、海洋プラスチックごみの総重量が、海の生き物の総重量を上回ると予想されています。

ここに記した事はほんの一部で、世界で取り組むべきゴミ問題。まずは自分が一つでもごみを減らす工夫をする

